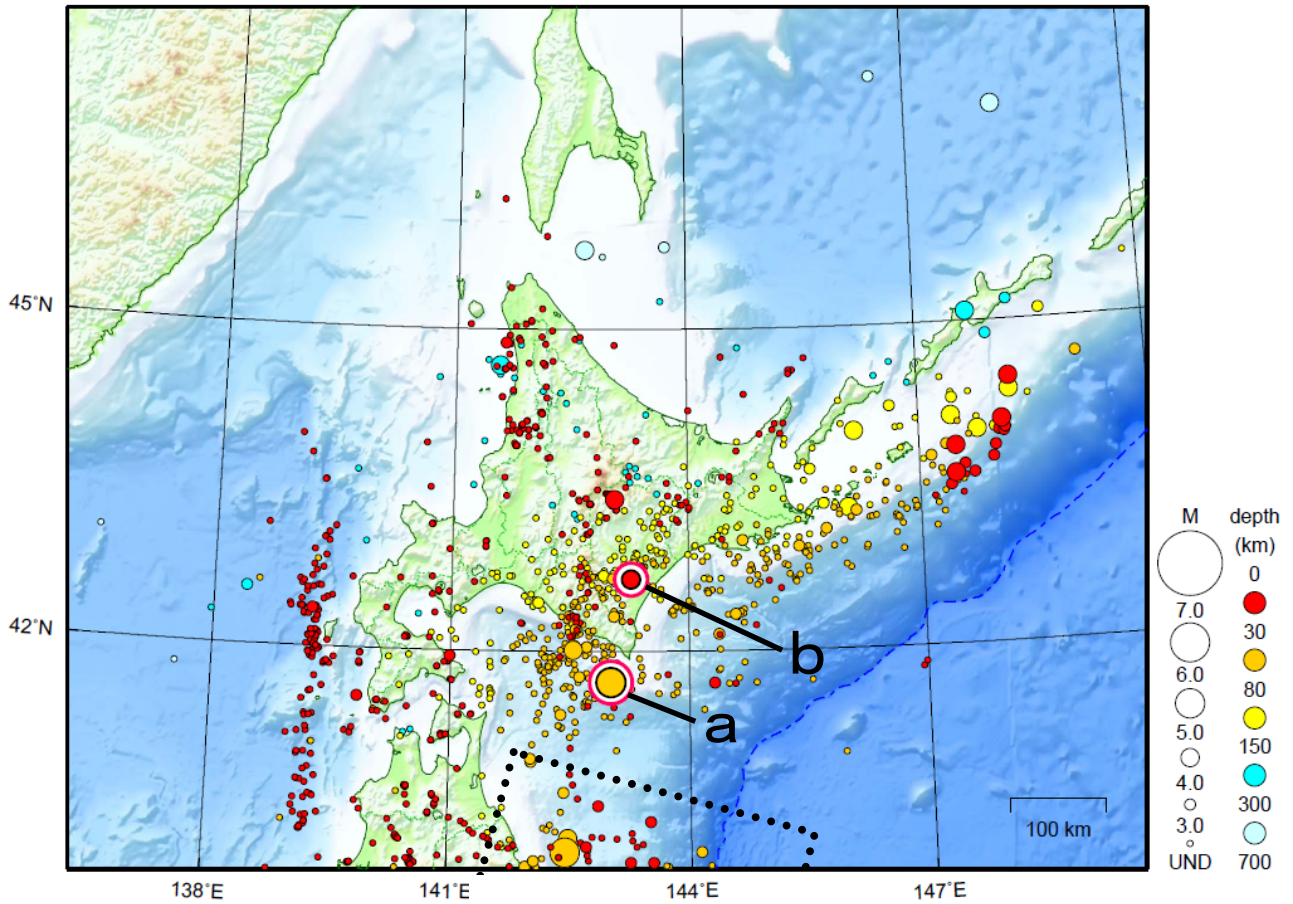


北海道地方

2011/08/01 00:00 ~ 2011/08/31 24:00

N=1863



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 8月1日に浦河沖で M5.5 の地震（最大震度 4）が発生した。

b) 8月22日に十勝地方南部で M4.7 の地震（最大震度 4）が発生した。

気象庁はこの地震に対して[十勝地方中部]で情報発表した。

(上記期間外)

9月7日に浦河沖で M4.3 の地震（最大震度 4）が発生した。

9月7日に日高地方中部で M5.1 の地震（最大震度 5 強）が発生した。

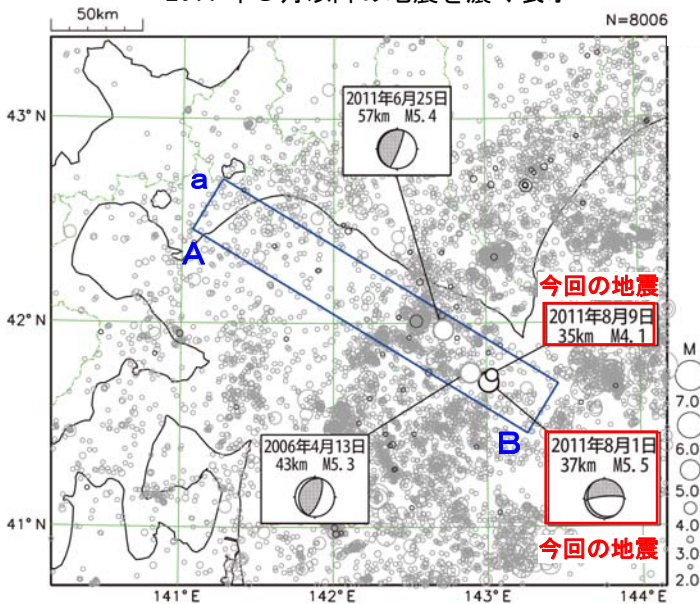
気象庁はこの地震に対して[浦河沖]で情報発表した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

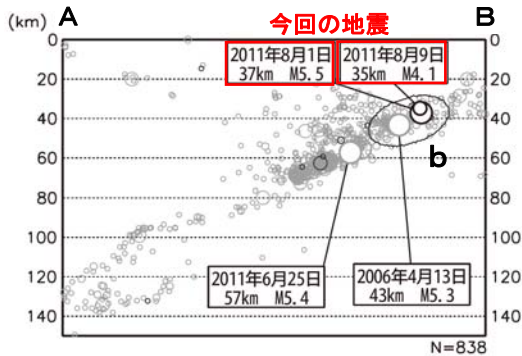
8月1日 浦河沖の地震

震央分布図(2001年10月1日~2011年8月31日、
深さ0~150km、 $M \geq 2.0$)

2011年8月以降の地震を濃く表示

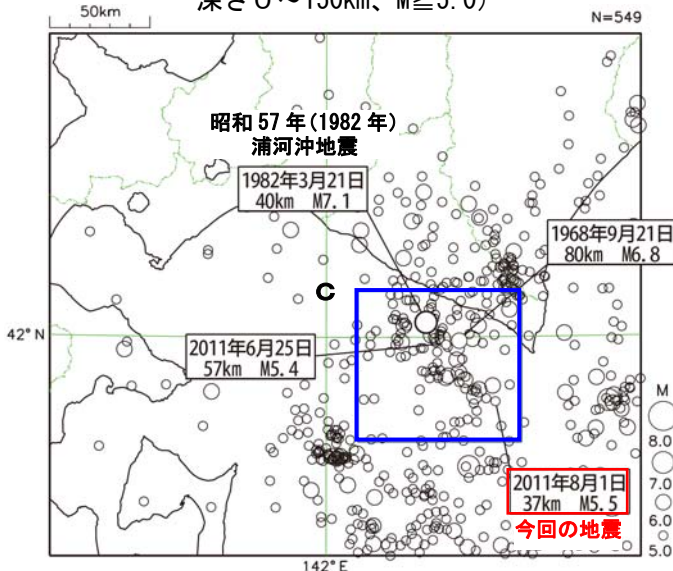


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年8月1日~2011年8月31日、
深さ0~150km、 $M \geq 5.0$)

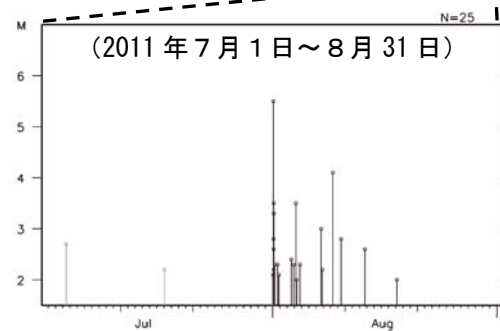
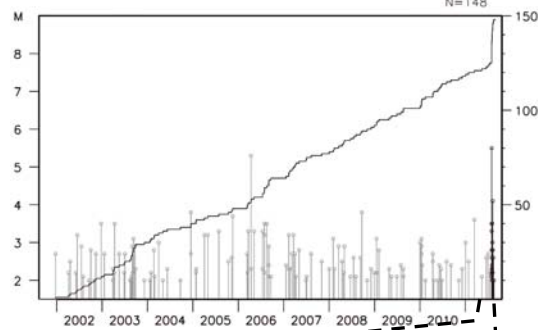


2011年8月1日02時35分に浦河沖の深さ37kmでM5.5の地震(最大震度4)が発生した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界付近で発生した地震である。発震機構は、南北方向に張力軸を持つ型であった。

この地震の震源付近では、9日07時31分にもM4.1の地震(最大震度3)が発生するなど、地震活動は活発であったが、その後地震回数は減少した。

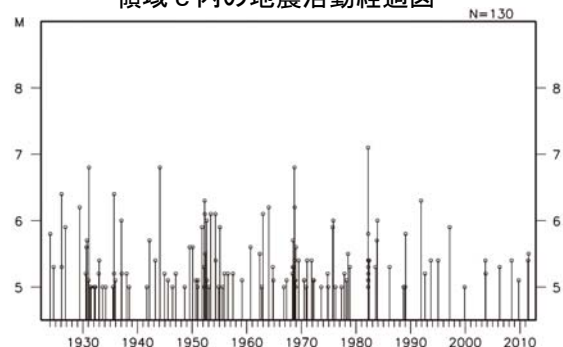
2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2006年4月13日にM5.3の地震(最大震度4)が発生している。

領域b内の地震活動経過図及び回数積算図



1923年8月以降の活動のうち、今回の地震の震央付近(領域c)で発生した「昭和57年(1982年)浦河沖地震」(M7.1、最大震度6)では、負傷者167人、建物全半壊25棟の被害が生じたほか(「最新版 日本被害地震総覧」による)、北海道から東北地方の太平洋岸で津波を観測した(津波の最大の高さ: 浦河78cm(検潮記録))。

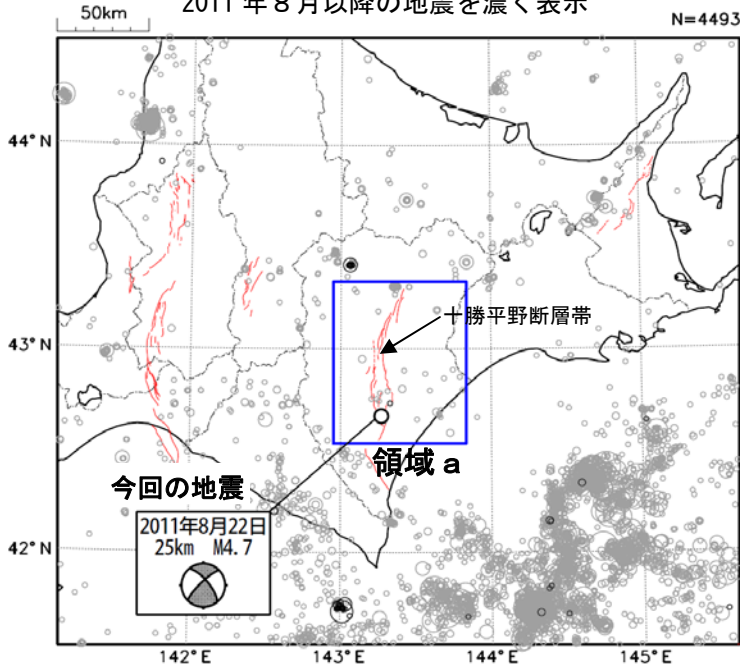
領域c内の地震活動経過図



8月22日 十勝地方南部の地震

気象庁はこの地震に対して〔十勝地方中部〕で情報発表した。

震央分布図(2001年10月1日~2011年8月31日、
深さ0~40km、M≥2.0)
2011年8月以降の地震を濃く表示

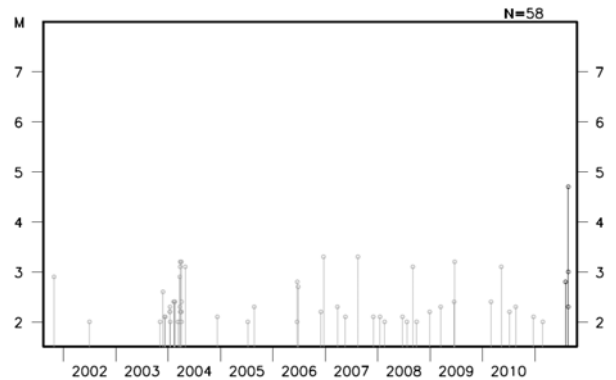


図中の細線は地震調査研究推進本部による
主要活断層帯を表示

2011年8月22日09時07分に十勝地方南部の深さ25kmでM4.7の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生した地震である。

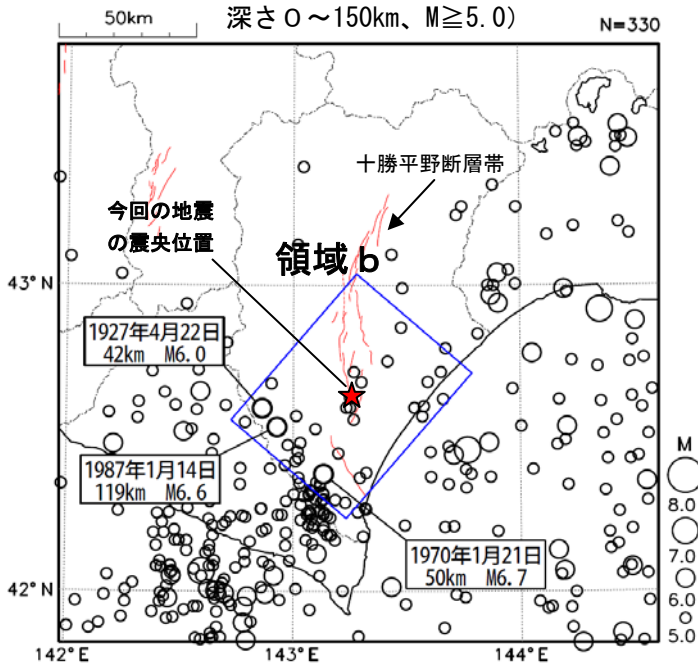
2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では目立った地震活動はなく、これまでにM4.0を超える地震は発生していない。

領域a内の地震活動経過図



震央分布図

(1923年8月1日~2011年8月31日、
深さ0~150km、M≥5.0)



図中の細線は地震調査研究推進本部による
主要活断層帯を表示

1923年8月以降の活動で見ると、今回の地震の震央付近(領域b)では、M6.0以上の地震が3回発生している。

そのうち、1987年1月14日の地震(最大震度5)では、負傷者7人などの被害を生じた(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域b内の地震活動経過図

